えんぽとたんぽの始発駅 里山ビオトープ二俣瀬	会 報　第141号	２０１３年4月２３日 里山ビオトープ二俣瀬をつくる会 編集責任者：原谷 一誠

１．活動報告（　事務局　記）

―３月３１日（日）監査は今井会長、原田・田村両副会長、事務局原田及び監査役は林弘之さん一人で行っていただき、宇部市からの監査役は都合上欠席でした

―４月６日（土）２５年度「里山ビトープ二俣瀬をつる会」の総会がありました。
２４年度活動報告・会計報告・監査報告が承認されました。
２５年度行事計画・親子自然観察隊活動計画案も承認されました。
その他　１、事務機器として、プリンター・ラミネート器購入が認められました。
２、初集会の要望事項について宇部市に要望の件で、川崎会員からその後の進捗状況の話が有りました。
３、監査役に綿部謙造さんが任命されました。
４、各活動の責任者による方向性や活動の問題点について発案があり会員皆様で協議しました。
会員　４９名中３０名（２５名出席＋５名の委任者）の参加でした。

―４月２０日（土）
平成２５年度「親子自然観察隊」の決隊式とプレゼンテ―ションを二俣瀬ふれあいセンターで行って、ビオトープに移動しました。第一回目は「食べられる野草」で、管隊長が野草の説明し、親子・指導者で周辺を散策し、食べられそうな野草を沢山集めました。中にはたべられない野草も有りましたが、専門家によってより分け天ぷらにして食しました。竹の子堀りも経験し新鮮なものを焼いたり、煮たりしても食べました。来る５月の子どもの日（端午の節句）を祝って当つくる会から、ヨモギ餅も搗いて食べ、楽しい観察会となりました。
参加者は、子ども隊員１６名・シニア１名・ジュニア２名・保護者隊員１２名・園児３名会員スタッフ１９名で合計５３名でした。

２．今後の予定（　事務局　記）

◎見学者　　―　現在のところ計画は有りません

◎行　事
―５月５日（日）維持活動（エコアップ、修復作業）

―５月１８日（土）親子自然観察隊（野鳥観察）

３．来訪者の声

今月はありません。

４．会員の声【竹林調査での余談　】　（　原田満洲夫　記）

139 号に引き続いて宇部市の「竹やぶから竹林へ」の一環である竹林調査を継続して行っていますが、益々宇部市の北部で、歴史深い場所を発見した。

私が趣味で１０名程度の仲間で行っている「夢ロマン隊」（始めは山城探索会）でまだ未到の場所が多々発見された。

万倉ではすでに知られている、国司家屋敷跡も私にとっては初めて確認した。さらに国司家の山城らしき跡を発見したのである。ロマン隊の隊員の中で大変山城に詳しい方が居られるが、此処は私が独自で発見した場所で有ろうと、自慢話が出来る事である。

ご存知の方も多いいが、国司・・・は幕末に「蛤御門の変」で長州藩が朝敵となって責任をとり切腹した毛利家３家老の一人で２６歳と一番若かった家老であり、万倉の地でも非常に惜しまれた人物であったため、屋敷跡も整然と佇んでいる。地区の方々の慕情が思い知らされ、今だに整備が守られています。

更に奥に行って吉部で竹林調査をすると、ここは杉　伯耆守の居城であった信田丸城跡、ここらあたりは過っては沢山の田んぼも有ったと推察される段々が山の中腹以上まで続いている。

今は昔“つわものどもの夢の跡は“現在は休耕田というか竹林と雑木林になっている。人家も惟１軒あるが近くには，過っては生活された石垣や廃墟が数軒見受けられる。

先月号で記述した「世の衰退は大奥より」よりさかのぼった 150 年まえ更には 450 年前から大奥から海岸方向に向かって人口が移動し大奥が衰退していった光景を観る事が出来る。

５．親子自然観察隊　「食べられる野草」

今年度も「里山親子自然観察隊」が始動し、15 家族の内 14 家族が出席し、決隊式と今年第１回目の観察会「食べられる野草の採集会」を行いました。天気予報の予報通り、お昼ごろより雨となりましたが、楽しく山野草の観察と採集、草モチの杵つき、山野草の天ぷらを作り、試食会と昼食を終えました。

まず、ふれあいセンター講堂にて受付後、第１回親子観察隊の決隊式、会長及び管隊長の挨拶、資料配布、フィールドにおける危険生物の説明と注意があり、ビオトープへ移動し、食べられる野草、採集可能な野草の説明し、皆で山野草を採集しました。

採集した野草の発表、山野草の調理、野草の試食会及び昼食して解散しました。

山野草の採集は思い思いに行いましたが、思った以上にバラエティーに富み、いろんな山野草が摘み取られていました。尚、本日欠席された北村会員により、春の七草の実物標本が準備されており、大変役に立ちました。

ちょっと危ない場面も！～調理された野草の中に毒をもつ”ムラサキケマン”が１本だけ混じっており、幸いにも調理された会員より管隊長に確認があり、即座に排除し事なきを得ました！～ケシ科の植物で強烈な毒では無いようですが、吐き気や脈拍の低下、呼吸困難、心臓まひなどが起こるとされています！～山野草の試食にはくれぐれもご注意を！

＜採集された山野草＞

セリ・ナズナ・オギョウ（ハハコグサ）・ハコベ・スズナ（カブ）・スズシロ（ダイコン）・フキ・ツワブキ・ヨモギ・スイバ・タンポポ・ワラビ・ゼンマイ・ノビル・ノアザミ・クズ・サルトリイバラ・タラ・タケノコ・スギナ・カラスノエンドウ・スズメノテッポウ・カスマグサ・オオバコ・タネツケバナ・（食べられない野草は省略しました）

親子自然観察隊（４月２０日　食べられる野草）に参加した親子の感想

★勝手杏莉さんのお母さん

今日は雨がふらなかったらもっとよかったんでしょうけど、楽しかったです。子供もこれは食べれるかとか食べれないかとか、興味を持って楽しんでくれてたので良かったです。自分達で採ったものを食べるときも、あれは美味しかったとかちょっと苦かったとか友達と美味しく食べてたので、行って良かったと思ってます。これからもよろしくお願いします。

★大井千晶さんと千智さんのお母さん

雨降りでこの時期にはない寒さの中、それを苦に感じることなく親子で楽しむことが出来ました(^-^)昨年より、今年はよく野草を食べてましたので、成長したのかなと我が子ながら感心しました f(^_^)一年間、よろしくお願いいたします(*^^*)

★岸田実優さん

今日は、初めての参加でしたが、いろいろな食べられる野草を自分達で探すのがとても楽しかったです。その後、探した野草をてんぷらにして食べました。すごく美味しかったです。周りには、こんなに食べられる野草がいっぱいあるんだなとびっくりしました。次回が楽しみです。

★山本将大君のお父さん
親子自然観察隊も上の子から参加しておりますが、最初の結隊式でもおっしゃいましたが１０年も活動が続いているのも関係者の維持活動があってのことと思います。感謝申し上げます。

　今年の第一回目の野草の観察では、まずはタラの芽を取りに行きましたが、しっかりと取ることが出来てもうひと家族の子どもも喜んでおりました。そのあとは、タケノコ狩りに行きましたが、なかなか奥まで行かないと見つけることが出来ませんでした。それからあいにくの天候となり、なかなか野草の採取としては難しかったです。
　今回は野草の天ぷらとまさかの餅つきもあり、持って行ったおにぎりもいらないほどの沢山のご馳走となり大変うれしかったです。

★阿部さんお母さん
今日はお世話になりました。又 寒い季節がやってくるのかしら…と勘違いしそうなくらい寒いいちにちでした。春の野草を見つけ、摘んでみて柔らかかったり、棘に驚いたり、香りを嗅ぎ、新鮮な天ぷらを味わい、自然を満喫したいちにちでした。道沿いの三つ葉ツツジのピンクの花と、三枚かたまって空に向かって芽をだしている新緑の葉のコントラストに、自然が造り出す造形美を感じました。
★阿部真愉さん
今日 山菜摘みをしたのが楽しかったです。タラの芽を３つ採りました。他にも色々摘みました。ヨモギを摘んでお餅にするところを初めて見ました。お昼に、ヨモギ餅をきな粉につけて食べました。とてもおいしかったです。山菜摘みをしていたら蛙がいっぱいいました。みゆきさんが二匹、私は一匹 手の中に持って歩きました。山菜摘みをしていたら、雨が降ってきました。戻ってテントの中に入ると、もっと降ってきました。じぃっとしていたら、手足が冷たくなってきました。車の中で足を温めていたら、だいぶ温かくなりました。

★藤井美早さん
タケノコほりのメリメリっていう音がおもしろかった。メリメリっていうまでに、なかなか当たらなくて難しかった。タケノコの天ぷらが一番おいしかった。
★藤井さんお母さん
山の中を歩いたり、土の上を歩くのがとても気持ちよかったです。いろいろな草が食べられるんだというのと、意外とおいしかったのでびっくりしました。おもちもすごく美味しくて、あれもこれも用意してくださって、感謝感謝です。ありがとうございました。

６．ビオトープ関連：「山口県のトンボたち」　　（　管　哲郎　記）

（４）ヒメクロサナエ（*Lanthus　fujiacus*　Fraser ）サナエトンボ科ヒメクロサナエ属

やはり渓流性のトンボで、発生時期は４月中旬～６月下旬、大きさや姿形もダビドサナエ、クロサナエによく似ています。日本特産種で、本州、四国、九州に棲息しており渓流部の緩やかな溜まりの落ち葉の堆積する中に潜み、ダビドサナエやクロサナエと同じ場所に棲息し、同時期に羽化するようですが、棲み分けしている場合もあります。

成虫は羽化を終えると、支流のさらに細い源流域などに入ってしまい、ダビドサナエやクロサナエとは棲み分けをしているようですが、いずれも渓流は細い場所もあり、混生する場合も見られます。

ハイキングなどで、細い流れに沿って歩いているときなど、フキやイタドリなどの幅広の葉の上によく休止しているのが見られます、注意してみてください。結構敏感なトンボです、見つけたらそっと近づくのがコツです。

倒立するヒメクロサナエ　♂

ヒメクロサナエ　♀

羽化終了間際のヒメクロサナエ　♀

７．会よりの連絡事項　（　事務局より　）

（１）会報の編集責任者の氏名変更：西原一誠　→　原谷一誠
　　住所と電話番号は以前と同じです。

（２）新入会員のお知らせ
　　名前：　阿部真希子　　大学生
　　住所：　宇部市常盤台 2-19-1

８．編集後記

私の誕生星座は「牡羊座」ですが、この星座が夜の空に輝くのは秋です。ではなぜ春の４月頃にこの星座を選んだかというのは、太陽と同じ位置にいるためで、それは昼のことであり、当然夜には見えません。誕生星座は「誕生日の３～４か月前の宵の空に見える」そうです。また、春の夜空を代表するうしかい座のアルクトゥルスは、日本では麦星・麦刈り星などと言われ、農耕とも関係しています。夜の空には月も出ていて、かっては暦も太陰暦でした。たまには、夜の空を見上げて、月や星を見ていろいろと考えてみることもいいかなと思います。

（　原谷　一誠　記　）